

第371号 令和元年7月

# 東京都農業会議情報

編集及び発行 (一社)東京都農業会議

渋谷区代々木2-10-12  
TEL 03-3370-7145

## 第125回通常総会開く

### 理事2名・監事1名を選任

#### 30年度事業報告・収支決算を承認



第125回通常総会の様子

(一社) 都農業会議は、6月21日に中野サンプラザで、会員76人の出席を得て第125回通常総会を開きました。

総会では、青山会長の挨拶に続き、上林山都農林水産部長の来賓挨拶後、議事に入り

## 令和元年度事業計画・予算などを協議

### 令和元年度第1回事業推進協議会

6月21日、都農業会議は、

第125回通常総会終了後、引き続き令和元年度第1回事業推進協議会を開きました。

松川敦都農業振興課長より挨拶の後、「2019年度東京都農業振興施策」の概要について説明しました。

また、平成30年度の農業委員会・農業会議提携活動状況、改正生産緑地法への対応、農地斡旋などの実績を報告しま

した。

協議では、令和元年度に取り組む事業推進計画・予算などについて説明し、区市町村・農業委員会との連携をさらに強化し取り進むこととしました。

最後に、①農業委員会組織の新体制移行状況②農地中間管理事業の見直しの概要と前年度の状況報告③平成30年度食料・農業・農村白書の概要について情報提供しました。

ました。

第1号議案で

は、平成30年度事業報告および収支決算書について説明し、承認いただきました。第2号

議案では、退任された理事2名および

び監事1名の補充選任を行い、次のとおり新たな役員が就任されました。

◇役員氏名(敬称略)

理事(常設審議委員を兼任)

石坂 脩

(府中市農業委員長)

澤井 保人

(都農業共済組合長)

監事

根岸 稔

(三鷹市農業委員長)

## 8月～10月は「農地管理・流動化月間」です 農地の保全や利用を進めましょう!

農地の保全と流動化の推進に向け、本年度も8月～10月に「農地管理・流動化推進月間」を設定し、全国的に活動に取り組みます。

区市の市街化区域では特定生産緑地制度や都市農地貸借円滑化法などを、

農業振興地域や市街化調整区域では農地流動化をすすめる制度を周知し、農地利用状況調査を通じて農地の保全や利活用の促進をはかる月間です。

都内の農業委員会が一丸となって、農地の保全や利用を進めましょう。

## 島しょ農業のさらなる活性化に向けた要望などを決議

### 第32回島しょ農業委員会・農業者大会

島しょ農業委員会協議会(沖山慶孝会長「八丈町」)は、このほど、第32回島しょ農業委員会・農業者大会を開きました。

1日目の協議では、「島しょ農業委員会活動の積極的推進

に関する決議」と「島しょ農業振興施策に関する要望」が上程され、満場一致で決定し、その後東京都の農業基盤整備担当課長の野瀬友利課長に要望書が手渡されました。

2日目は、瑞穂町にて現地研究を行いました。

最初に瑞穂町農業委員会から瑞穂町の農業の概要や農業委員会活動、新規就農者の支援等について説明しました。

次に、同町で新規就農した森尋氏の農業経営と、瑞穂町農業委員会の上野勝会長が経営し、自ら生産した鶏卵を材料にした菓子などを提供するカフェ「たまご工房うえの」を見学しました。



野瀬課長(右から3人目)と各島の農業委員長



自らの農業経営について説明する森氏

### 都内選出の国会議員との意見交換会を開く

#### 全国農業委員会会長大会開催

5月27日、(二社)全国農業会議所(二田孝治会長)の主催により全国農業委員会会長大会が文京区のシビックホールにおいて開かれました。



東京農業の課題について活発な意見が交わされた

東京からは25区市町村の農業委員会会長らが出席しました。大会では国への政策提案や、農業委員会活動に関する申し合わせが決議されました。

### NPO法人全国農業体験農園協会通常総会開く

#### 令和元年度事業計画予算決定

NPO法人全国農業体験農園協会は、6月7日に武蔵野スイングホールにて令和元年度通常総会を開き、会員等約50人が参加しました。

令和元年度事業計画および収支予算などの審議が行われ、7議案全てが原案どおり決定されました。

### 消費者との交流活動・研究活動に取り組む

#### 東京都農業経営者クラブ第49回通常総会

東京都農業経営者クラブ(眞利子伊知郎会長)は6月14日、武蔵野市スイングホールにおいて第49回通常総会を開きました。

総会で決定された令和元年度活動計画では、消費者との交流活動やセミナー等の研究活動に積極的に取り組むこととしています。

総会終了後には税理士の吉川順子さんを講師に迎え「農家の消費税・新制度への対応



挨拶をする眞利子伊知郎会長

」をテーマとして農業会議との共催により農業経営者セミナーが開かれました。

終了後、都内の参加者は衆議院第二議員会館で東京都選出の国会議員との意見交換会を開きました。4人の衆議院議員と農水省、国交省の担当者が出席し、東京農業をめぐる幅広い課題について意見を交わしました。

特に第3号議案「令和元年度事業計画および収支予算に関する件」では、正会員サービスの周知やセミナーの開催などによる宣伝広告活動、ホームページやSNSなどによる情報発信等、会員および関係機関との連携強化を図ることが承認されました。

第6号議案「役員を選任に関する件」では、理事7名・監事2名が再任されるとともに、理事長に加藤義松氏、副理事長に富岡誠一氏が満場一致で就任しました。

また、前日には現地見学会を開き、多摩市でイチゴの観光農園を経営している新倉農園(園主・新倉隆氏)、日野市で高齢者向けの体験農園や三代体験農園など、多彩な

### 理事会・常設審議委員会だより

#### 理事会

令和元年6月21日に中野サンプラザで開催。

#### 議事

理事会前の第125回通常総会で、理事に選任された石阪脩氏(府中市農委会会長)、澤井保人氏(東京都農業共済組合長)を常設審議委員に選任した。

#### 第3回常設審議委員会

理事会終了後開催。

#### 報告

①5月の農地法第4条・

体験メニューを揃えている石坂ファームハウス(園主・石坂昌子氏)、同じく日野市で生産緑地を借りて全国初の新規就農者となった川名桂氏のもとを訪れました。



石坂ファームハウスの説明をする石坂昌子さん(右)

第5条の農地転用許可状況を東京都が報告。②6月の農地中間管理権の取得と農地利用配分計画による使用収益権の設定状況を報告。

#### 協議

①農地管理・流動化推進月間推進要領の決定②担い手支援対策事業の充実と要件緩和について説明③農業委員会と農業者との意見交換会・座談会の実施要領を決定④東京都段階の担い手ネットワーク機構の構想案の検討。

#### 理事会

令和元年7月17日にJ A東京南新宿ビルで開催。臨時総会を8月21日金曜日午後1時からJ A東京南新宿ビルで開催するとともに、提出する3議案を決定。

#### 第4回常設審議委員会

理事会終了後開催。

#### 報告

6月の農地法第5条の農地転用許可状況を東京都が報告。

#### 協議

①認定農業者制度の推進について説明。②都市農地貸借法による認定の状況を報告。

### 農業経営の発展・農業振興施策について研究

#### 農業振興地域フォーラム

都農業会議は、このほど武蔵野スイングホールにて、農業振興地域フォーラムを開きました。

本フォーラムは、農業振興地域の整備に関する法律の施行から今年で50年を迎えることを記念し、農業振興地域における農業委員会活動や農業経営の発展、農業振興施策について研究するために開いたもので、約110人が参加しました。

最初に、東京都農業振興課から東京都の農業振興地域に関する施策について説明しました。

次に農業振興地域にて新規就農した青梅市の繁昌知洋氏と、あきる野市の工藤



青梅市で新規就農した繁昌氏



あきる野市で新規就農した工藤氏

健一氏から事例報告をしました。

繁昌氏は、大学で生命科学を学び、自然とともに仕事ができる農業を職業にしたいと考え、新規就農を目指しました。都農業会議に就農相談し、立川市での研修を経て、平成28年に青梅市で就農しました。「新鮮な東京野菜をアピールしていきたい」と元気に目標を語りました。

工藤氏は、JAで働く家族から農業の話しを聞き、農業に興味をもち、就農を目指しました。瑞穂町やあきる野市での研修を経て、あきる野市で就農しました。就農後は、あきる野市の新規就農者向け補助事業を



農業振興地域に関する取組を説明する八丈町農委会の沖山慶孝会長

活用したり、珍しい品種の野菜の栽培に挑戦するなど、積極的に経営を展開していきます。

また、各市町村からも、農業振興地域の農業振興に関する施策や取組についての発表が行われました。

最後に、各発表を受け、武蔵大学名誉教授の後藤光蔵氏がとりまとめを行いました。



各発表を受けとりまとめを行う武蔵野大学名誉教授の後藤光蔵氏

### わかりやすく、読みたくなる誌面づくりを

#### 広報研究会開く

都農業会議は、このほど広報研究会を開き、各区市町農業委員会の農業委員会だより編集担当者など約50人が参加しました。

研究会では、まず都農業会議の角田専務理事が農業委員会活動における情報活動の重要性について説明をしました。

次に、国立市で農業法人を運営する一方、農業ライターとして雑誌などに多数の記事を提供している小野淳氏が「農業委員会だより」わかりやすく、読みたくなる誌面づくり」というテーマで講演をしました。



講演をする小野淳さん

その後、日の出町、立川市、武蔵野市の農業委員会より農業委員会だよりの取組みが報告されました。また、全国農業会議所より全国農業新聞の普及などについて説明がされました。

### 全国農業新聞を購読・普及しましょう！

全国農業新聞は、農業委員会系統組織の情報紙です。

これまでも農政の情勢、農地制度や税制の解説など農業委員会活動や農業経営に役立つ情報を提供してきました。

農業委員・農地利用最適化推進委員一人ひとりが、

情報の受発信に取り組みことは、地域農業の振興に結びつく重要な活動です。

農業委員・農地利用最適化推進委員の各位には、農家相談活動などを通じて、1人1部以上の普及を頂くようお願いいたします。(月4回発行・年間8400円)

### 長野県大町市の遊休農地解消に

#### 向けての取り組みなどを研究

北多摩地区農業委員会連合会

7月4日～5日に、北多摩地区の各市の農業委員長や事務局長など30人が参加し、長野県大町市を中心に視察研修会が開かれました。

最初に、大町市役所を訪れ、市農業委員長や産業観光部長をはじめ担当職員の方から、コメ作中心の市の農業の概要や高齢化などの課題について説明がありました。

また、遊休農地解消や農地の集約に向けた実績を上げていく農業委員会の活動も紹介されました。

その後、同市の2カ所の



「ヴァンペール平出」で話を聞く

### 「地域おこし」のための計画策定を支援

瑞穂町地域振興プロジェクト推進検討会開く

本年度より、農業会議では「地域振興プロジェクトの振興」事業を行うことになりました。地域の活性化、特産品の開発、都市農村交流など、生産団体などが取り組む「地域おこし」のための計画策定を支援する事業です。

7月9日、瑞穂町長岡コミュニティセンターにてこの事業を活用した「瑞穂

法人経営の農場を見学しました。ヴァンペール平出は、うるち米を中心に酒米、そ

町の地域振興プロジェクトの推進検討会」を開きました。農業委員や各生産団体の代表者が参加し、「これからの元気な瑞穂農業に何が

必要か」というテーマでワークショップを行い、参加者から多くの意見やアイデアを出していただきました。

今後、部門別の座談会などを実施し、計画策定を進めて行く予定です。



自ら作った野菜を売る大塚聖子さん(右)

ば、野菜等50haを栽培する経営で6次産業化を押し進める経営で加工用ブドウを栽培し、ワインを製造していました。ドローンで薬剤散布をしたり、タブレットを活用するなどスマート農業を実践していました。従業員は社員4人で機械化が進んでおり、J-GAPなどにも取り組んでいます。

また、田んぼアートなどを見学をしました。

### 新規就農者グループ「農作物販売促進イベント」

「東京NEO-FARMERS」

東京都内の新規就農者のグループ「東京NEO-FARMERS」は、このほど農産物の販売促進イベントを開きました。

港区赤坂にある「東京農村」の店頭で6月20日に行ったイベントでは、青梅市の新規就農者グループが出店し、約800人の来店者に「朝どれ、青梅産」を声かけして販売を行いました。

7月11日には西国分寺駅改札前の農産物直売所「にしこくマルシェ しゅんかしゅんか」において、新規就農者3人が夏野菜やジャガイモ、ニンニクなどを販売しました。

法改正により、来春には農業振興地域から市街化区域以外に対象農地が広がります。また、所有者不明の農地の貸し借りも可能となつていきます。

農業会議では、これからも農地中間管理事業により農地の活用を積極的に進めていきます。

**8月～9月の日程**

8・2	(金)	南農委推進委員研修
8・7	(水)	西農委推進委員研修
8・8	(木)	北農委推進委員研修
8・21	(水)	臨時総会
8・21	(水)	農政情勢研究会
8・21	(水)	常設審議委員会
8・29	(木)	農地中間担当者会議
8・29	(木)	貸借・新規就農会議
8・30	(金)	担い手支援会議
8・30	(金)	主任職員協議会
8・30	(金)	都職研研究会
8・30	(金)	都職研役員会
9・13	(金)	農委職員現地研
9・17	(火)	常設審議委員会
9・26	(木)	農地部会長研究会

### 農地中間管理事業で農地の有効活用を